

天草市河浦町宮野河内地先で採取されたカキから国の規制値を超える麻痺性貝毒が検出されました

貝毒の定期調査の結果、平成27年1月12日に天草市河浦町宮野河内地先で採取されたカキから、国の規制値（4マウスユニット/g）を超える麻痺性貝毒が検出されたことから、天草漁業協同組合に対して出荷自主規制を要請しました。

貝毒は、加熱しても無毒化しないため、出荷自主規制が解除されるまでは、天草市河浦町宮野河内地先で採取されたカキ等の二枚貝は食べないでください。

麻痺性貝毒の症状としては、食後30分で舌、唇などがしびれ、重症の場合は、体が思うように動かなくなりますので、症状がある場合は直ちに医療機関で受診してください。

なお、この麻痺性貝毒は二枚貝に蓄積されるものであり、他の魚介類を食べても人の健康への影響はありません。

記

検体採取海域	採取日	検体名	麻痺性貝毒 (マウスユニット/g)
天草市河浦町 宮野河内地先	平成27年1月12日	カキ	24.8

1 県の対応

(1) 麻痺性貝毒量が国の規制値である4マウスユニット/gを超えたため、本日（1月16日）、天草漁業協同組合に対して天草市河浦町宮野河内地先産のカキについて出荷自主規制を要請するとともに、関係機関に連絡しました。現在、出荷の実績はありません。

(2) 天草市河浦町宮野河内地先海域だけでなく周辺海域においても、引き続き、定期的に貝毒力検査を実施し、安全性を確認します。

(参考)

1 貝毒

二枚貝が貝毒原因プランクトン（毒を持った植物プランクトン）を餌として食べることで体内に毒を蓄積させる現象のことです。その症状から、麻痺性貝毒、下痢性貝毒等に分けられます。

麻痺性貝毒の場合、人の致死量は、体重60kgの人で、約3千～2万マウスユニットと言われていています。

2 出荷自主規制

水産庁長官通知に基づくもので、麻痺性貝毒の場合は、可食部1g当たりの毒力が4マウスユニットを超えた場合に行う措置です。

3 1マウスユニット

20gのマウス1匹を15分間で死亡させる毒力です。

お問い合わせ先

水産振興課環境養殖班 担当者 中原・渡辺
直通：096-333-2455（内線：5672・5676）
健康危機管理課乳肉衛生班 担当者 中満
直通：096-333-2248（内線：7083）